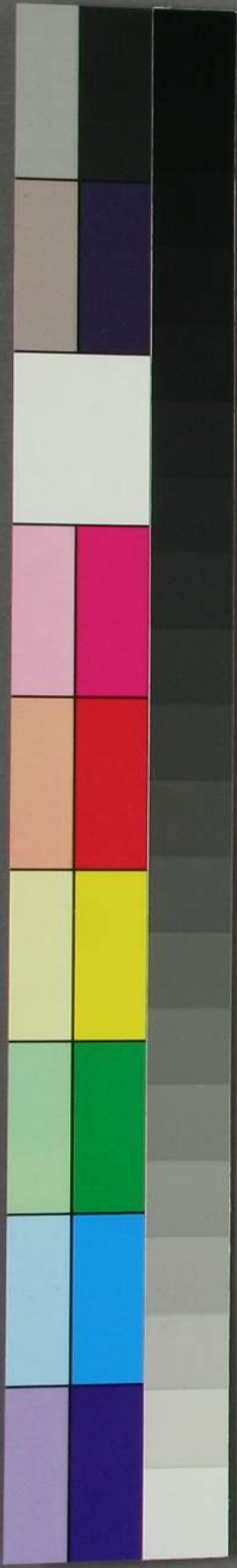


東都叢書記

春止

一

76  
3375  
1



天保丁酉新鐫

# 東韻歲更記

全部五卷

門 78  
號 3575

東韻歲更記

早稻田大學圖書館  
第 25.3.1  
冊 八 本

齊藤幸成校家庭遺書之  
錄更著輯江戸中行事四

卷較法向時坊刻教種其詳  
細可想已幸成之所為亦洵首  
其前人矣今化國日長垂髫  
戴白日歡月樂是在玩花賞

齊藤幸成

東韻歲更記

東韻歲更記

月之地。蹇神歎佛之場。維在  
都人士。紛嘉繁會。日不暇給。  
矧千里蹀躞。近旅。數月。以觀  
其佳。巖窺之。廣大者。亦乃  
扶是冊。東探西討。窮其脚力  
所至。亦無可以恨哉。余嘗撰

三餐一覽。為煙霞作導引。  
故於是輯。欣然落筆。不覺  
其言之無端也。天保壬辰。至  
月冠山寺。人題



未茶三衣書



東都歲時記序



欲窮千里目者。必登高丘而望  
 焉。於是眼界豁然。雲散烟靡。一  
 淡一濃。如遠如近。有鬱乎者焉。  
 有真乎者焉。有如練而映者焉。  
 有如紅而臥者焉。有棊峙者焉。

東嘉平刻

有蟻散者馬唯憾依稀茫洋不可名狀焉及其進步於絕頂假遠鏡以望之鬱乎者壽也真乎者凶也如練而映者川也如虹而卧者橋也某峙蟻散者城市也宮觀也人馬往來也嚮依稀

茫洋者今皆昭二塵二毫未可辨錙銖如掇粟何也假遠鏡之助也蓋並之欲探勝境縱奇觀者足未踏其地目未觀其事而徒聞人說話以爲遣興慰心也具譬猶望千里不假遠鏡亦安

得與茫洋之憾乎。輦街長齋藤  
月峯。風流閑雅。好探都下勝境。  
神祭佛會。及閭閻出俗。蒼鳥靈  
月之候。記出畫之。編成四冊。名  
曰東都出事記。嗚乎。此書一出。  
使彼徒聞說話。以遣興慰心者。

得昭<sub>上</sub>。塵<sub>上</sub>。毫末<sub>上</sub>。更<sub>上</sub>。辨。錙銖。如  
掇。則亦可以當千里之遠鏡哉。  
強者其先人。他<sub>上</sub>。江戶。君所圍會  
二十冊。如其山川。起落。出沿革。  
禮祠。佛刹。之緣起。竊不畢備。而  
至祭會之式。閭閻之俗。若則畧

東都歲事記  
序  
五  
矣。是月岑氏以著此書之意而  
余斯謂其功殆有倍焉。以何言  
之。在於百世出後。慕於百世之  
前。欲興廢繼絕者。必取徵於此。  
然則非直悅人出耳。固也。其功  
之偉。可以起矣。余常以此稱之。

今也。將鐫布齋而乞序。余更檢  
之。圖乙正位。陶陰改容。精確著  
明。有加以於他日。余撫手歎曰。甚  
矣。其所爲肖於其先人。其如此  
而後。可無復遺憾矣。卽錄其常  
所稱之言。以爲出序。

天保丙申孟春

荆岷日尾踰撰并書



Handwritten text in the left column of the right page, mostly illegible due to fading.

提要

○凡此編を每歳江戸府より神社の祭祀佛法の法會等あり  
 きたりし時乃俗より近き近き隨て是を輯録し其邦他境の  
 人びとに東都歳事の繁多なるを知らしめんとす此の  
 加ふる小書月記をも亦名々佳境と以て將邦外とてても江戸  
 此良妙處と運ぶの傍區ハとも記し其好親の一助とす

○柳營の街規式といふものも市人の便を知るにこれハ其邊の  
 出入控を終り一端と載て闕略を補ふもの

○宮祠寺院の由来并に宗舎の規式流例未の如きハ嚮に父祖の  
 阿らざる名所宗舎を載するに故に河を以て流注して其  
 減し當日時は隨て搜索し候ふべし

○末社の宗舎寺院の法子其外境内神仏の會日亦も繁多あり  
 其傍計は違あり其宗舎の生偉あり其法抜萃して瑣細の



抄事ハハハハ略也

○神佛の同論並ニ縁日誌ニ除月並の抄子ハ正月の抄ニ收め國中  
毎月の二字以攝して是を略す

○甲子と以て抄子の類ニ毎月朔日の次ニ誌し系物木の如き時日  
の定りたるより抄子日次の後ニ出を系物の内名在傍地ホ一巻乃  
書す而も抄子より校際と題して后人の補遺を俟つ而已

○花街雜劇の年例ハ繁多事ニ悉く誌し得るよりして是を略す  
卷く農子ニありてハ却て載る事勿し江都と題し且持親と名と  
まると以てあり

○神社と院の富無抄も文政以來年々倍して枚十ヶ所とあり  
頗る江府の繁多なりとてハ各年限ある所ハ略し改る所と  
何れも後よりして以編ニ漏る

○詩歌と耳目ふ少く候費ノ加ふ所とてハ敢て穿鑿及も以  
又同擊する所とてハ繁多ハ厭ひしやして七八と省り

○此編毎条自ら經歷して其記法延々抄し又ハ社司も倍々身々  
記せしとてハ見事持りたる所ハ其精練繁多事ニ悉く以  
てのりとしてハ劇職も悉く校正すのいとも少く元より窮  
區を跋し候りする而已して達識の眸端ニ依りて是より抄  
さしハ其候より止むぬ漏るるも它日必見し隨々増益を以て  
讀むれば容易とてハ杜撰の礙と以て棄る事勿しハ別章甚しとて

天保壬辰初冬穀旦

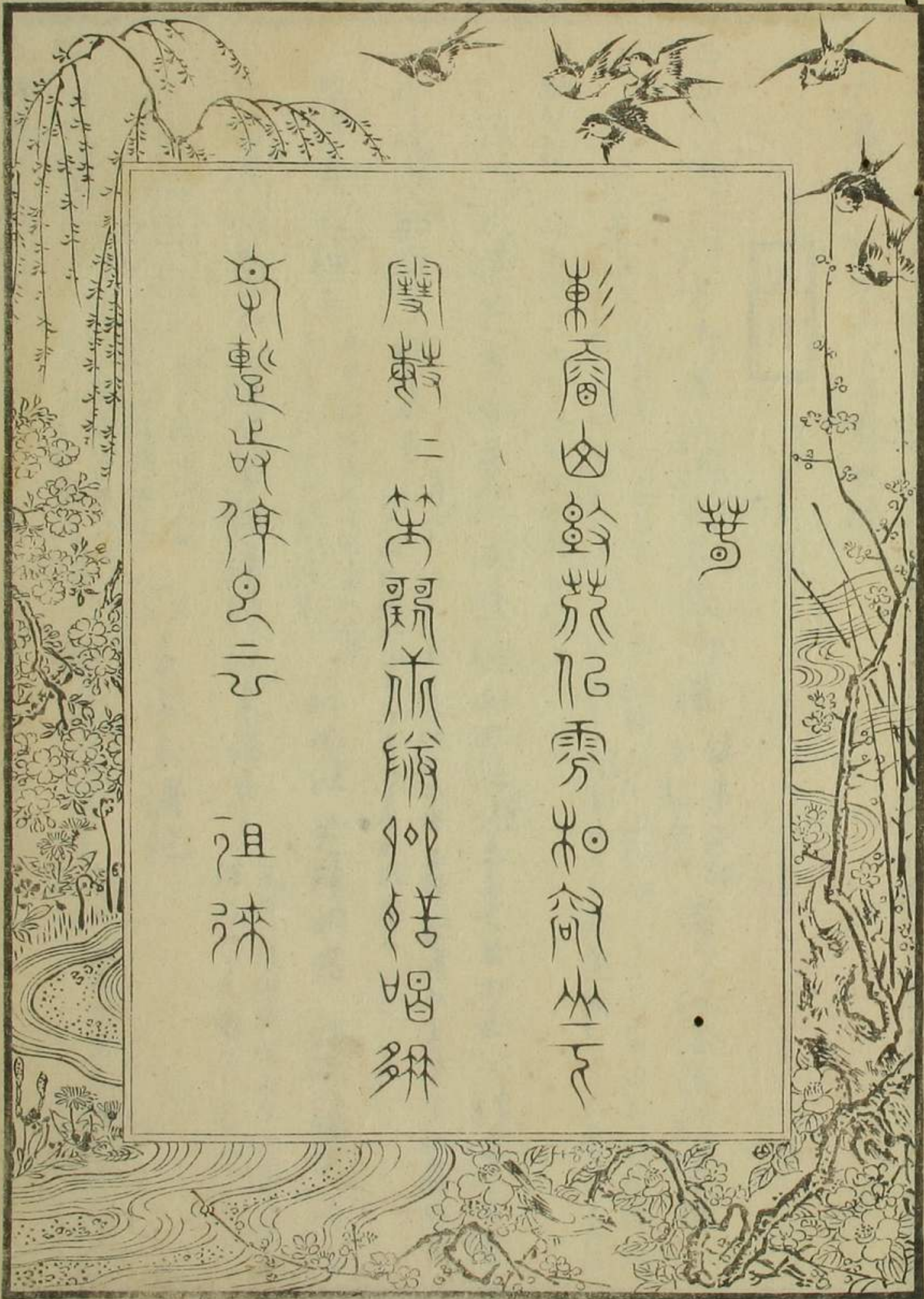
東都神田

齋藤月岑識



附言

江戸年中行事と輯せられたる元禄二年関板の江戸惣麻子  
 三のより以前より見出しに江戸麻子拾遺 享保廿  
年板 江戸麻子 延享二  
年板  
 江戸名勝志 此書ハ大抵の江戸事ニ  
記し加へり延享年中板 増補惣麻子名不大全 寛延二  
年板  
 武藏志料 此和撰  
写本 増補年中行事 中本一冊  
文化板 亦又載りしものも  
 全体的に於てと云ふも今数件を增添して此書と編輯せしむりと  
 して遠漏抄よりと云ふと云ふと題して好士の刪潤とするに已  
 写本又本邦年中行事記あり又一枚摺の年中行事并佛事法記縁日  
 略記花暦の類法家の雑抄小多し或人云々世流の事と云ふの花の  
 と安永中排人松蔭庵を碎りありとせり本邦中行事記縁日  
 小多しと云ふ或は花伝風と云ふ一枚ありしものもとり程のねへ



世

東嶺叢書

卷二

江戸年中行事

祖述

江戸歳事記卷之壹春之部

正月



元日○市一門方御儀代御大名衆御禮 装束お卯 半刻を仕 諸事江戸方御登城

○諸家年法 南窓おて二日より 今朝若おを汲む今日より三日迄を御雑煮候

棚と儲く今日より六日迄と松の肉と

○源川洲邊芝高輪等此海濱神田の社地おあて日の出と津まを御集

今曉七時より群集也 「海を」船日のりて江戸の妻鳥醉「芝浦や車の上」初辰起波

毎月 ウケスナ 查六神系 毎月朔日十六日廿八日の二日 江戸向ぬ帆はあがりたり春の風藝太 神田社 芝神明宮 源川八幡宮 市谷

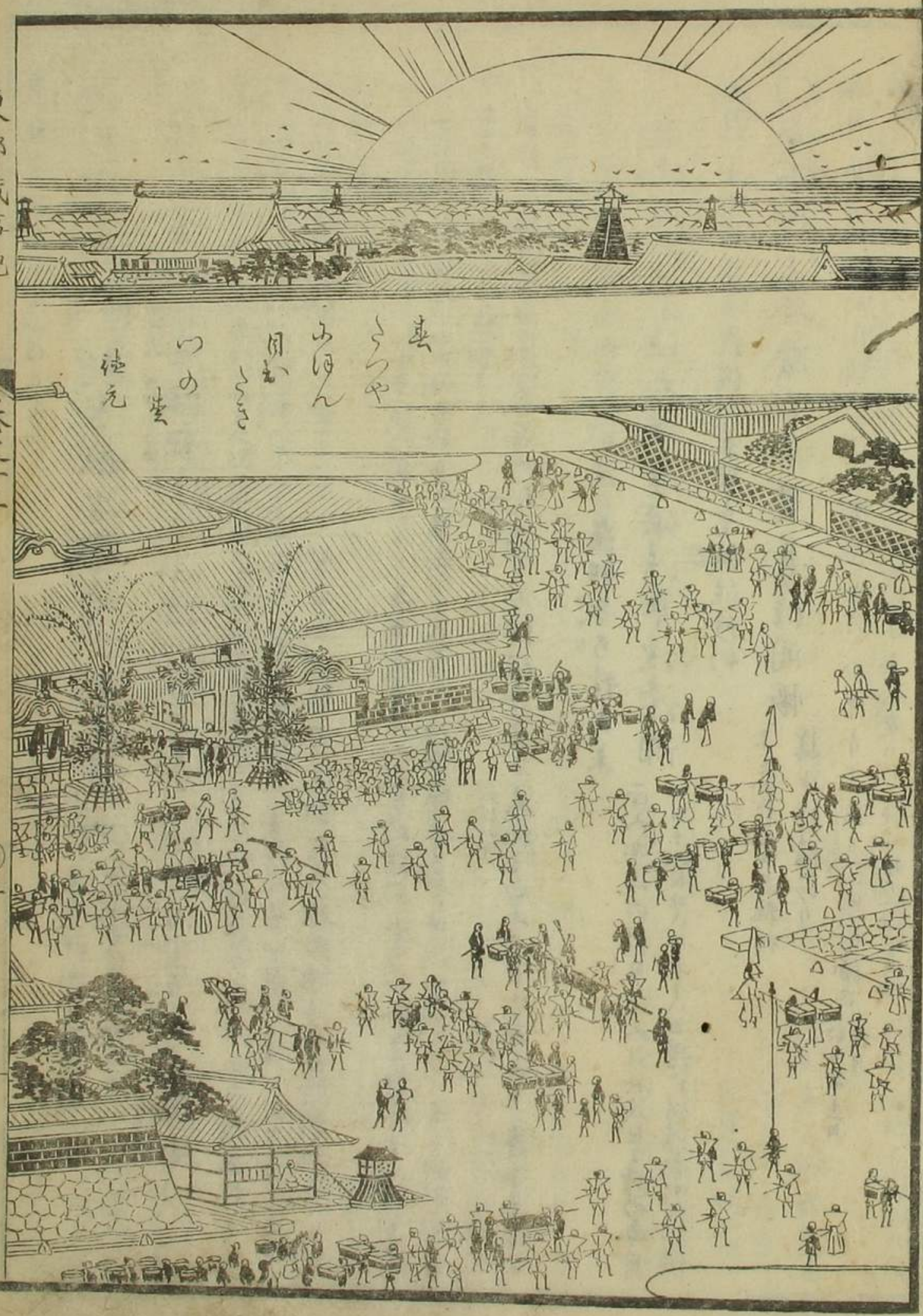
八幡宮 以菰茹八幡宮に餘諸神社奉詣也 元日八法社神社あり又尚月中 神乐ありて徳いよもりか

淡輪洲稻荷社 毎月朔日十六日 廿八日奉詣也 ○惠方系諸社

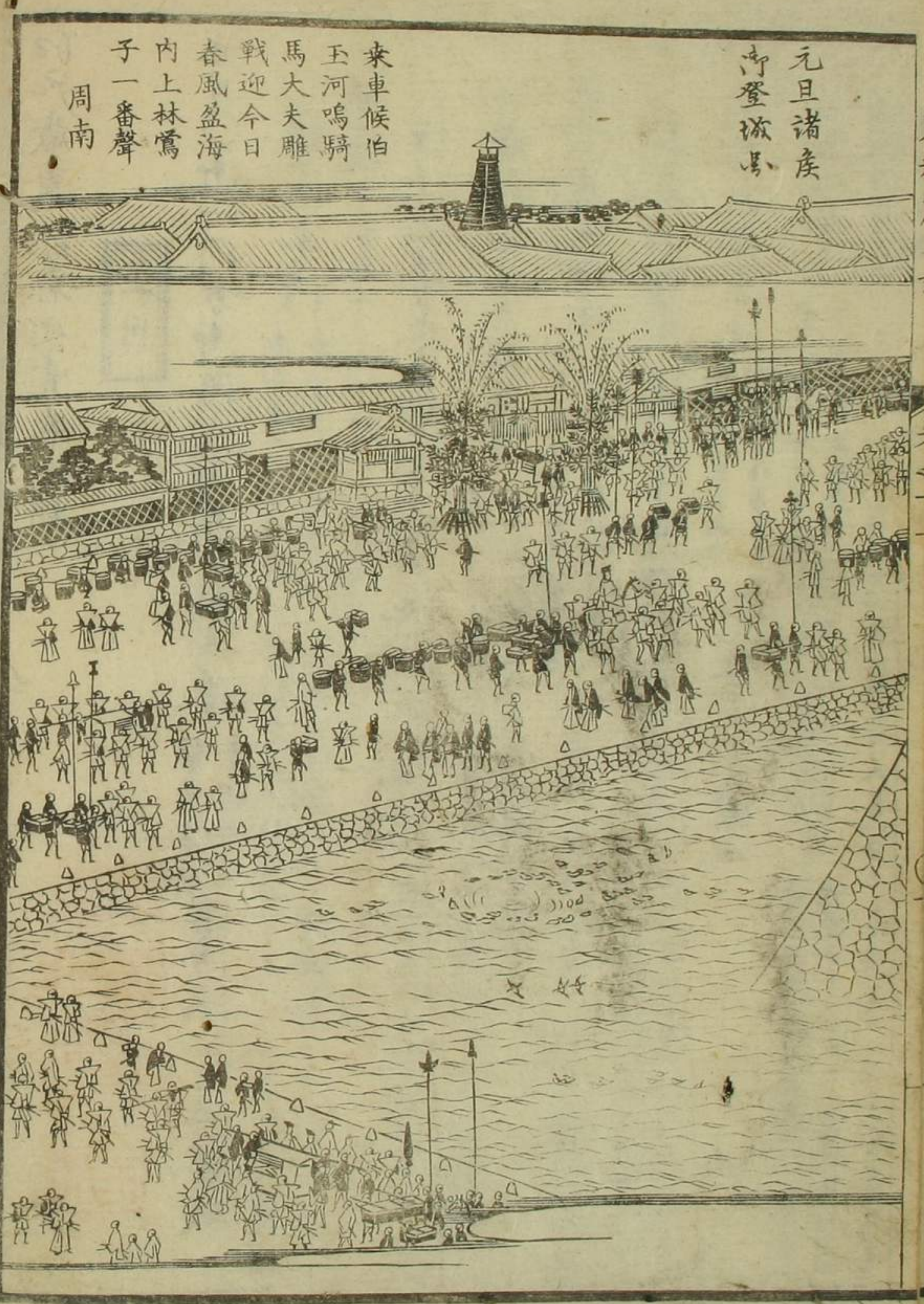
毎月 妙見系 朔日十六日縁日なり 廿八日中も奉詣あり 本下柳湯法性寺 毎月子巻陀羅尼修り正月と 閑帳あり月毎子巻湯群集以同不

降臨日奉詣正月七日二月八日三月二日四月四日五月六日六月七月七日八月十八日九月十月

京都御所  
卷之五



春風  
吹  
く  
山  
の  
つ  
ゆ  
は  
融  
け  
た  
か  
ら  
は  
な  
の  
さ  
か  
す  
け  
は  
は  
や  
い  
ち  
に  
は  
な  
の  
さ  
か  
す  
け  
は  
は  
や  
い  
ち  
に



來車候伯  
玉河鳴騎  
馬大夫雕  
戰迎今日  
春風盈海  
内上林鶯  
子一番聲  
周南

元旦諸侯  
所登城邑

京都御所  
卷之五



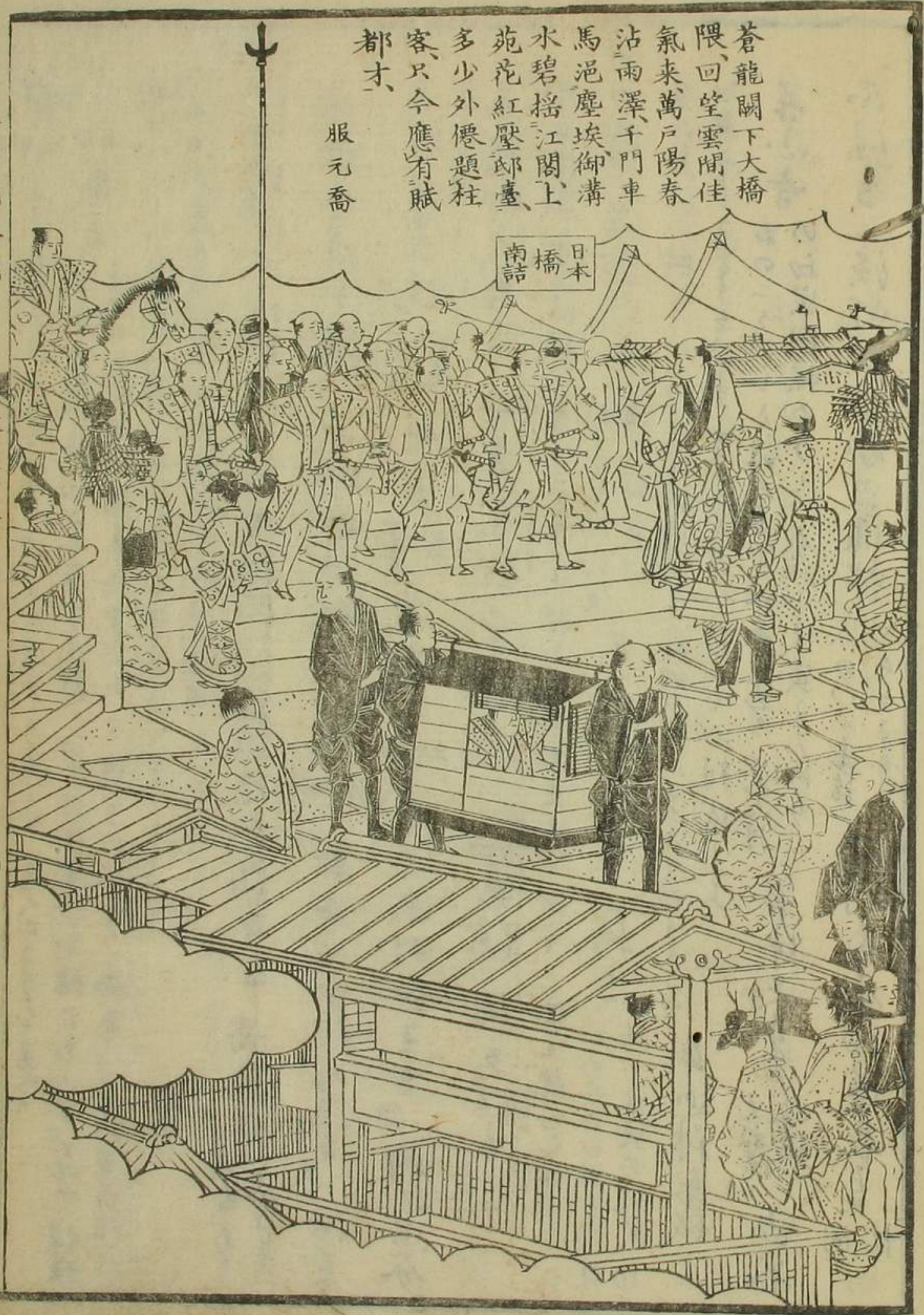
初春  
路上  
圖



芳集  
多民況  
世に  
佐民の  
子町  
橋の  
門  
吉原云

蒼龍閣下大橋  
隈、回望雲間佳  
氣來、萬戶陽春  
沾雨、深千門車  
馬泥、塵埃御溝  
水碧、搖江閣上  
苑花、紅壓郵臺  
多少、外僊題柱  
客、只今應有賦  
都才、  
服元喬

日本橋  
南詰



だうけとくろく人無入人なり云々  
○初富士  
本於系物最初なる所なり  
○元日此見りりけりせむ富士のやま 宗隆

甲子日(毎月) 大正律系 津田社地 小石川傳色院寺中編聚院 同帳あり

東叡山護心院 本所無活町大恩院 帳 麻布一本松大法寺 同 沙系

寺中長壽院 出世 下谷 蓮光寺 同 半込京町経王寺 同 駒込追分

東横町大恩寺 日暮里経王寺 青山仙雲院 同立法寺

今日俗家少もは林と多り二まゝ大根小豆飯思直と供也 街小焼を高く  
寅日(毎月) 毘沙門系 諸人群集也 芝全秋二丁目正傳寺 正九月の寅日同帳

と求めしりしとせりかへ今日俗人へむろく小判成り  
善心寺 右の二つ所なく法人多く住居人出り正九月 台津天王寺 大般若 山谷

正法寺 濱町社元家山護邸 本所の正法 不川南橋坊蓮長寺 同 帳

下谷盛泰寺 同 帳 向所新寺町玉泉寺 正九月子卷 矢津本覚寺 二田

新法寺 同 帳 下谷南寺町本性寺 正九月 同新門外 同 帳 麻布廣尾天現寺

卯日(毎月) 毘沙門妙法系 天海文の境内少あり毎月卯の日と縁日と正九月の初卯と号し  
をりよ満つ又二の卯之の卯も是又同し法人律符と交て替り接てくる縁或は去る縁と号し

牛込山尊旨町南花院 本所平井 外間 茶研堀埋立地 外間  
不忍池 外間 沙系寺中荒沢堂 三田寺町松葉院 外間 若中明王院 外間 同為光寺

己巳(年中) 辨天系 下谷恩ら同 外間 増上寺山内 外間  
本取一丁目 熱緑 深川氷代寺 同冬本庵中 洲邊吉祥寺 本取石系

每天小治 徳女每天 沙系寺内 外間 徳女每天 天宮花院 沙系池の妙音寺 同 帳 橋坊



初卯の日  
龜戸妙義  
赤





後妻院 大坂 下谷龍泉寺町月洲寺 岡 牛込 おん 南院 三田寺所宗院

旭每天 小石川傳通院寺仲昌林院

午日(毎月) 稻荷系 王子社 真清社 津世しむ 二團社 妻戀社 市谷

系本稻荷 護

沙草及圃冬稻荷三日月 赤坂大宮堂下を以て川稻荷 好詠 ○毎月月日の午の日満ち上松平大和彦や一以川越のうら一 外江戸ハ稻荷の社類一 記をよ連はくは

初申日 ○永田馬場山王宮法華三昧 ○沙草寺境内山王宮開戸 辰上

散花二開一答流徒二人才子二人於社於寺とむむ社壇於於々流徒木凶徒逃伐乃可矣と負ひ悪魔降伏の文と移りしなり

庚申日(年中) 庚申系 高輪為照寺 愛宕下馬橋寺 入谷表宝院

八丁堀松尾指東法 今日儀部より書面合別とまり又庚申法の酒宴と儀也

○東葛西山又村帝釈天系法 題經よりあり今日子巻院羅尼修仍板本蓋宝院あり至外毎月初申の日百巻院羅尼修仍圍廊あり

庚申と縁ありしなり の本寺出観の日かふふとあり

酉日(毎月) 天宮系 外の日(同)

亥日(毎月) 摩利支天系 上野町法大寺 毎月岡帳正月初亥より子巻院羅尼修仍あり外の外岡帳儀あり

源川猿江日先社 亥のちや々 難有る答玄津院摩利支天岡帳正六 岡帳あり 九月より子巻院羅尼修仍

二日 ○國之城主 装 諸所及人方寺禮登城 六ツ時江戸川前連 ○和歌初

○高家小八今日貸機 と印 諸所及人方寺禮登城 ハ向の連がと儀事ふ書てなる儀事表

○飛戸天満文裏 白連 交會 もりのり

○吉系遊女奉法 今日より奉法 はる少油と個へ亮よ 一極の彩衣と て往來儀よ

里法 通中 とりの 三日より 八日迄 と あつ け と 儀 と 儀 の 衣 裳 と 出 る を 以 て 儀 事 と す

せり 又 正月 の 夜 が あ り と 儀 事 と す 里 の 門 に 各 家 の 方 と 向 け て 立 る を り と 儀 事 と す

と 儀 事 と す と 儀 事 と す と 儀 事 と す と 儀 事 と す と 儀 事 と す

三日 ○諸所大名院の御掃子方寺禮登城 慶本月長滝辰の刺出仕舞よ 先例よりて執と抄あり

東者... 今新寺... 愛宕... 上野護国院...

○今新寺... 愛宕... 上野護国院... 大正寺門...

○愛宕... 今日半...

○上野護国院... 大正天の...

○元之大師系... 毎月...

○日本橋... 毎月...

○流橋... 毎月...

○赤羽有司... 毎月...

○江戸英... 毎月...

○赤羽有司... 毎月...

○江戸英... 毎月...

○赤羽有司... 毎月...

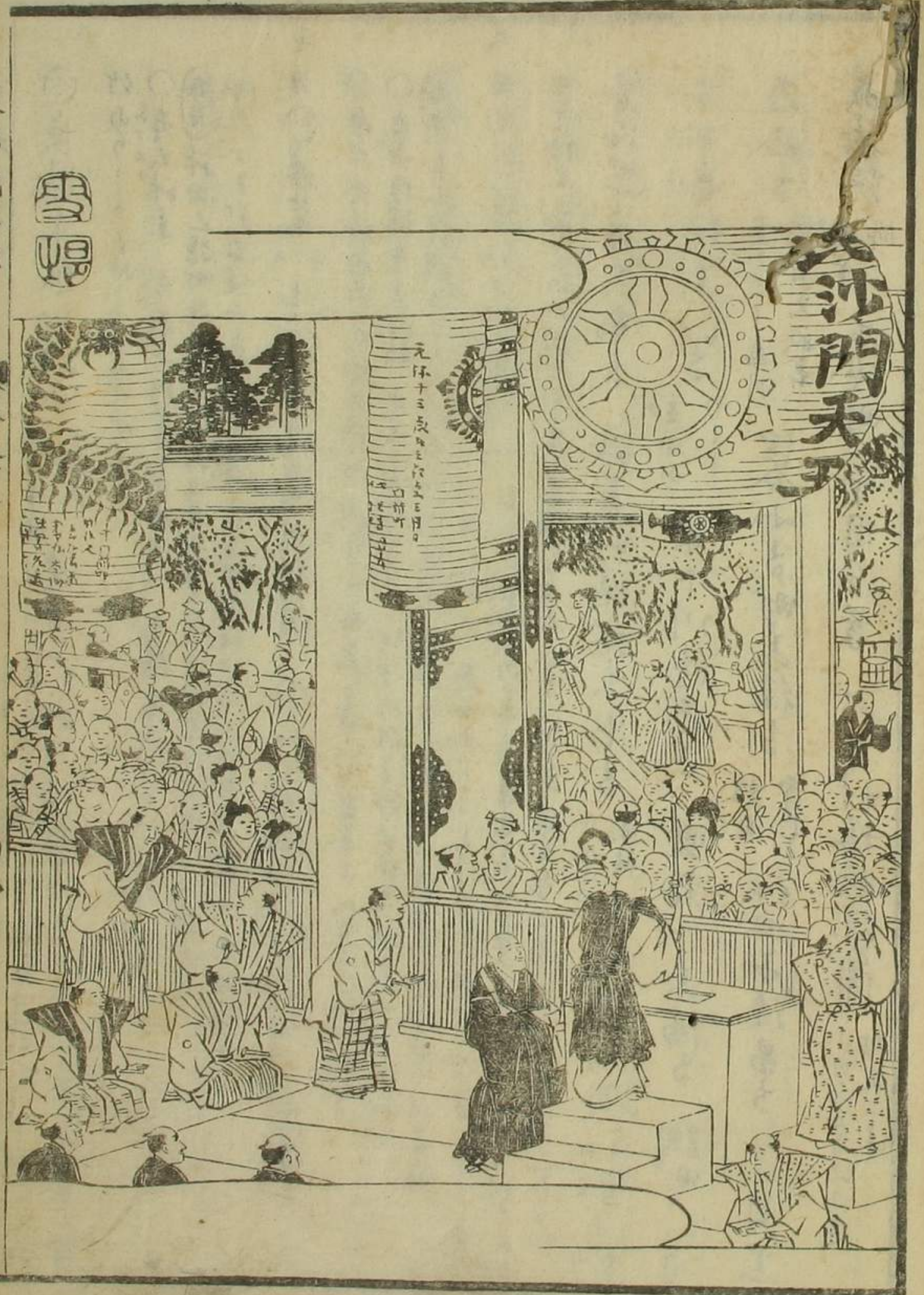
○江戸英... 毎月...

棟廊... 赤羽有司...

藤原氏  
源氏  
平氏  
白河院

谷中天王寺  
富の圖

湯治天波官月  
不動寺なりび  
ありて富の昔より  
七夜道今に府に  
富真のの寺院  
教所ありとも  
多限を歴て沿革  
ありて記さんも  
巻益るべし  
本文を除き一圖を  
加て闕る成  
浦人



沙門天王

雪  
唱

藤原氏  
源氏  
平氏  
白河院

○良助年越と行人六日手越 今夕門松と名納む兼成の以て十六日工納む

竹ありしり玉焚かすりて今夕○有去林系 今夜七種菜とちやま 厄拂事

○有去林系 今夜七種菜とちやま 厄拂事  
○有去林系 今夜七種菜とちやま 厄拂事

七日 ○若菜 祈祝儀諸産祈登城 今夕若菜七種菜粥と食む

○若菜 祈祝儀諸産祈登城 今夕若菜七種菜粥と食む

八日 ○薬師系 芽場町 祈祝儀諸産祈登城 今夕若菜七種菜粥と食む

○薬師系 芽場町 祈祝儀諸産祈登城 今夕若菜七種菜粥と食む

本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

○良助年越と行人六日手越 今夕門松と名納む兼成の以て十六日工納む

竹ありしり玉焚かすりて今夕○有去林系 今夜七種菜とちやま 厄拂事

○有去林系 今夜七種菜とちやま 厄拂事  
○有去林系 今夜七種菜とちやま 厄拂事

七日 ○若菜 祈祝儀諸産祈登城 今夕若菜七種菜粥と食む

○若菜 祈祝儀諸産祈登城 今夕若菜七種菜粥と食む

八日 ○薬師系 芽場町 祈祝儀諸産祈登城 今夕若菜七種菜粥と食む

○薬師系 芽場町 祈祝儀諸産祈登城 今夕若菜七種菜粥と食む

本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

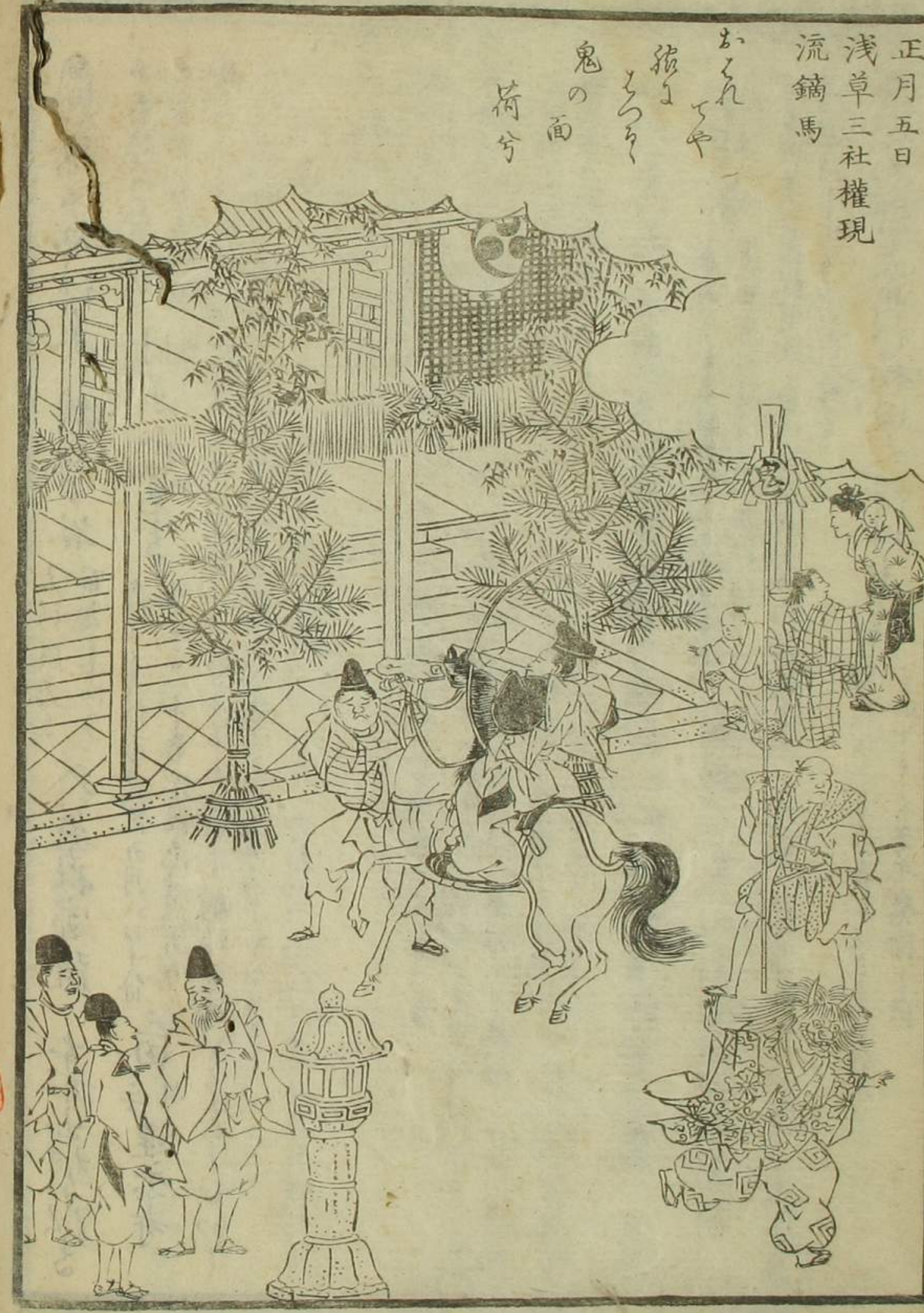
成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

成徳院 本下川浄光寺 愛宕下志福寺 鞠町八丁目

正月五日  
浅草三社権現  
流鏑馬

おくれ  
後  
鬼の面  
荷分



○小石川氷川社女座神楽(毎月)永田五郎安助が天流文来女五日ふも美話とゆふさる

○高田砂場村氷川祭奉村の式あり村中喧嘩より古雅なる舞あり  
十一日○新具足カミシロキの儀新儀諸家同  
昔ハ廿日と用らるゝかり廿日と刃柄ツバカを別  
同刃柄と扱人との儀説あり國悪なるに  
よりて昔廿年兼慶と正月より改定しは羅山兼慶集小足より同刃柄と扱人の儀説あり具足縁道由

○新連カミシロキお會  
新儀家より古き新式礼ありよ  
温知秘儀  
おひり来由ハよりり阿婆ハあはれ漏れ

○沙系サガキ古新始  
今晚七ツ半の外陣お於て棟梁  
他方の法藏人向創の式と云

○高家ダイフラキヤウ貨買帳と綴ぢト花ハナひヒとト後ノチ人  
続帳とゆふ雜業  
と云 後人

○小谷稻荷コヤ二十ニ八ハチ座ザ神カミ楽ガク湯ユ花ハナ無ム乃ノ六ム月ツキ九ク月ツキ九ク日ニチ也ナリなり  
毎月)神田輝崎町カミタヒサキマチあアひヒくク素ソ夕セキ方カタより

十二日○沙系サガキ古温座ウニザ院イン羅ラ尼ニ開ク白ハク  
天下泰平テンカタイヘイ小座安全コザセアンの神行カミユキ儀あり今日より十八日  
まで七シ座ザ敷シキのノ旨ニ本堂ホンドウの中ナカ左サのノくク不動フドウ尊ソウのノ旨ニ  
壇と掃ハラヒ入イ幔マンとやうトくクてテ二百六十八ニ温生ウンセイのノ秘法ヒホウ修シュ乃ノあり

○上座中堂カミザナカドウ大教ダイケウ若ニハ法ホウ儀ギ今日ケノヒ辰ツチのノ刻キョク一ヒト山ヤマ越コ出デ仕シ仕シてテ修シュ乃ノ西セ儀ギ不フあアてテ大ダイ教ケウ若ニハ法ホウ儀ギのノ札シラシとト云イハふ  
四月八日又月九月  
十二日も同帳也

○上座中堂カミザナカドウ大教ダイケウ若ニハ法ホウ儀ギ今日ケノヒ辰ツチのノ刻キョク一ヒト山ヤマ越コ出デ仕シ仕シてテ修シュ乃ノ西セ儀ギ不フあアてテ大ダイ教ケウ若ニハ法ホウ儀ギのノ札シラシとト云イハふ  
今日ケノヒ毎ツネニ月ツキ九月クのノ十三ト日ニチハハ八ハチ開帳カキマクあり又月  
並開帳ナミカキマクのノ様サマ申マウ河カハりリ高タカ八ハチ繁昌ハルチヨウのノ寺テ院インあり  
をオのノ鑑カミ素ソ晴ハル雨アメとト厭イヤムとト日ヒ毎ツネニふス来キ法ホウ群グン集シユてテ老オウ法ホウ造ゾウとト儲タカラふスとト又マタ毎ツネニ日ヒ百ヒャク發ハツ券ケン

十月(毎月)祖師系ソウジケイ法ホウ花ハナ堀ホリの内ウチ妙ミウ法ホウ也ナリ  
毎月)神田輝崎町カミタヒサキマチあアひヒくク素ソ夕セキ方カタより

此上本門寺 雜司ヶ谷法明寺 下谷 長遠寺 正六月 深川寺 町浄堂 同 帳

大塚本坊寺 毎月廿四日 牛込横寺町圓福寺 十二月十日 高田本松寺 新満 同 帳

法華寺 本覺寺 毎月廿六日 小中表町本之寺 同 帳 中 長光寺 坂下

本表寺 同 赤坂今井谷圓通寺 青山立法寺 十二月十日 同 帳 中

○深川森下町神明宮 毎月廿八日 王子金輪寺十八講 毎月廿九日 小石川養願寺 虚空藏系 町不動寺

○王子金輪寺十八講 毎月廿九日 小石川養願寺 虚空藏系 町不動寺

○良妙寺 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日

○産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日

○産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日

○産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日

○産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日

○産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日

○産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日

○産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日

○産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日

○産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日

○産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日

○産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日

○産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日

○産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日

○産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日

○産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日 又産去神社 毎月廿九日

形見せふ多り其のれも多て大入の所へ同し程と引續て無りすあり

十六日 ○船戸天満文入新食調進

午の初社月祝詞と奏す次小飯天楽と奏し魚香

又と後む終りて津兵殿あて津歩河り 郊の日のあはれあなる餘日あり

○淡菜報恩もあて開山の木像へ鯉魚と供さ

此鯉魚を調理せし法人多し人

坊下儀を飯派あり一は彼地の天満文示現の事ありを例ふより毎奉飯派より池の鯉二匹を  
送るは送れりて淡菜と送らるは淡菜と天満文入新食調進の儀とて初進の儀とてわくこと四例と云

○湯嶋麟祥院より從二位春日局

仁満子義大姉

新堂開扉の儀と云々

○小日向殿御坂龍興も法華經の文字を以て画す六百羅漢并小釋

迹文殊普賢觀音等六十餘幅の畫軸と揚す

幅毎に十人陪侍の者あり人へり

一向一畫儀ありて儀の如く敷ありて座の如くありてはるはる經文と連りて寫すありて圓一と  
とと施すありて又經文あり九妙經一紙餘卷と云々書きたるありて府中の小使が意成原  
信法より人の事ありはか及某の事保十九寅付書に誠心あり長きふ及んで捨力券法と  
結く一は方小周於てを技と紙む又丹書と好んく持所玉燕ふ夢ひ主業世上ふ鳴り  
元より名利誠まはすはてを感推門拵けりてはるはる難發して自ら極意亭と云々大の  
の以て六百羅漢の像と画んふと發起し寛政八年あむと其時一高き尺停む文化七  
年七十七の老病に罹りて終ふ深寂を是より先帝南條大典經師高き現  
任天啓和尙あてりてを願末と云々此すも今高寺より傳へり計書して後師の記文を



淡菜報恩も開山性徳房の祝書  
上人の御身より下儀飯派あり  
一は上人の御身より下儀飯派あり  
弘られしは地の天満文の儀と  
る老病と云々  
たすひて師身の約  
あり天保元年正月  
十日の夜は仲御來り  
爰中も若たすひて  
師資の乳儀と云々  
此の儀の鯉魚と報恩  
も入送るへりて是れを  
を別とて飯派より  
鯉魚二匹と送るも  
今もあがり正月十日  
あはれと御理を以て  
門徒あり

位妙なりと云々

○圖魔系 世小多んまの 斎日とりの 沙草寺苑前長延寺 圖魔丈六像生行 脱衣婆立像 同大圓寺十五王

沙草寺奥山 兼脱衣婆在出 畫病者以形也 同寺中正智院 藤杖迦 兼脱衣婆 沙草寺整頓寺中函堂院

上野清水親音堂内 下谷廣小路為樂院 下谷坂本若養寺 六

下谷金枝世言寺 兼六の えだ 湯沼圓滿寺 兼脱 衣婆 本郷六町目法善寺内

本銀町四丁目親音内 兼脱 衣婆 茅場町茶師境内 深川 寺 町 法善院 十五王像生行 脱衣婆

同靈巖寺中開長院 兼脱 衣婆 同八幡文境内 兼脱 衣婆 本下回向院 兼脱衣婆在 兼脱衣婆の

兼十五王像地獄の画幅と掛る 同靈山寺 同法恩寺中大教院 同小割下為院 兼脱衣婆の

同谷目羅漢寺 二市堂 蓮池の向く 俱生寺在 芝増上寺山内 同龍岳院地蔵堂内

芝合地院 不像冥途の像あり 兼脱衣婆の 西窪天徳寺中隨養院 兼脱衣婆 兼脱衣婆 兼立院 兼脱衣婆

麻布一本松長傳寺 兼脱衣婆 兼立院 兼脱衣婆 同是不動尊境内 地蔵堂内 兼脱衣婆

同是安養院 十五 脱衣婆 法谷長谷寺 兼脱衣婆 三田寺町実相寺境内

同四町目春林寺 兼脱衣婆 高輪如來寺 本堂 兼脱衣婆 南不川長法寺 牛込

通寺町養長院 兼脱衣婆 同系町松平寺境内 小日向 榎木 兼脱衣婆 還玉寺 兼脱衣婆

同上ありて日輪寺内 小石川五坂若雄寺 市谷柳町光徳院

市谷八幡文境内 不坂 兼脱衣婆 同谷町地福院 兼王寺 雜司谷玄淨院 法昭寺 兼脱衣婆

駒込小苗本繩子正法寺 兼脱衣婆 同寺町光源寺 大観堂内 兼脱衣婆 兼鴨美性寺 兼脱衣婆

王俱生計善赤の鬼淨婆利の流のありて罪人と業のさうり掛る像在 谷中天王寺内瑞雲院 麹町八丁目栖居院内

同九丁目心法寺 十五 兼脱衣婆 平河天満宮社地 日谷内辰新若本宗寺 兼脱衣婆

同不裏通心交院 兼脱衣婆 同南寺町法眼院 法干 兼脱衣婆 中野法眼寺 兼脱衣婆

同赤坂一ツ木淨土寺 兼脱衣婆 同威徳寺内 同新町寺修寺内

兼山泰平観音境内 同教覚院 兼脱衣婆 同善光寺境内 兼脱衣婆



子任金花寺 同勝專寺 芝浦川端寺 神院 毎月小石川下富坂町

源覚寺 閻魔系 世俗花鏡

今日諸寺院地獄變相の画幅と掛る 本所押上志堂寺小石川下富坂町の閻魔廟  
て花劫唐月と誓りしむ今日本寺より掲ぐおせしむ 源川法福寺より十王乃地獄の  
画幅十六段漢の画像よりなるものも松原英月六十二歳の画ありそ外に画あり  
若中長安寺地獄の画幅掛る

○今日東叡山文殊樓 山あり文殊并と安住輪箱 治上馬山門 十六段漢 法系  
とも語て諸人の世なりしむ

○今日 文殊并と とも語て諸人の世なりしむ 泉岳寺より用らる泉岳寺  
ちと 安住

中々経より画り大曼荼羅等七士の像よりなる 同本澤寺より用らるる  
春臺文集 早春登壇上寺樓

芝浦春風百尺樓 登臨宛是鳳麟洲 東南目極滄溟濶 唯見房陵水上浮

○吉原系町二丁目旭如來開帳 旭丸也

○雜司谷鬼子母神祭 中古より今日奉對祭とて着意の式ありしむをいひし  
絶くなり 今法花経と改稱するなり 今日本寺更衣あり

毎月 聖天文縁日 大徳寺より 湯崎天休下回 谷波干板表内 泉岳寺 赤坂相良寺  
より用らるる 外外酒月の件あり

毎月 八丁堀のそと太林文系 毎月 南本町番切町河原秋葉系 毎月 葛西宮妻敷吾嬭桂尻塚日今日系 廿日

毎月 牛込系町幸系 毎月 市川組師岡帳 〇川に若光寺阿保院用ちる

〇今日南家の奴婢やぶつりしむ人の帳とひて母兄より得し又六神仏法  
自在道邊と貝系好古云やぶつりしむ者刑の得り多し一やぶつりしむ者油琴風  
やぶつりしむ者やぶつりしむ者やぶつりしむ者

十七日 毎月 芝増上寺 安住殿降帳 法系二社桂現御相殿山法樂河原 同所

新堀端松平西福寺 御官系 毎月 西九月廿八日 西九月廿九日 西十月一日

毎月 観音系 女三日迄 七親者 法系 十七日 中々 法系 十七日 中々 法系 十七日 中々

大塚渡由寺 本銀町 下目 七日の官関帳あり 麹町八丁目 栖岸院 神系板

仍元寺 大叙 青山泰平親音 正月十七日 〇湯崎天満宮放生會 六月五日

〇王子村十八講 農家より引当令輪寺の住持と法一酒飯と登り農家より  
大塚渡由寺より引当令輪寺の住持と法一酒飯と登り農家より

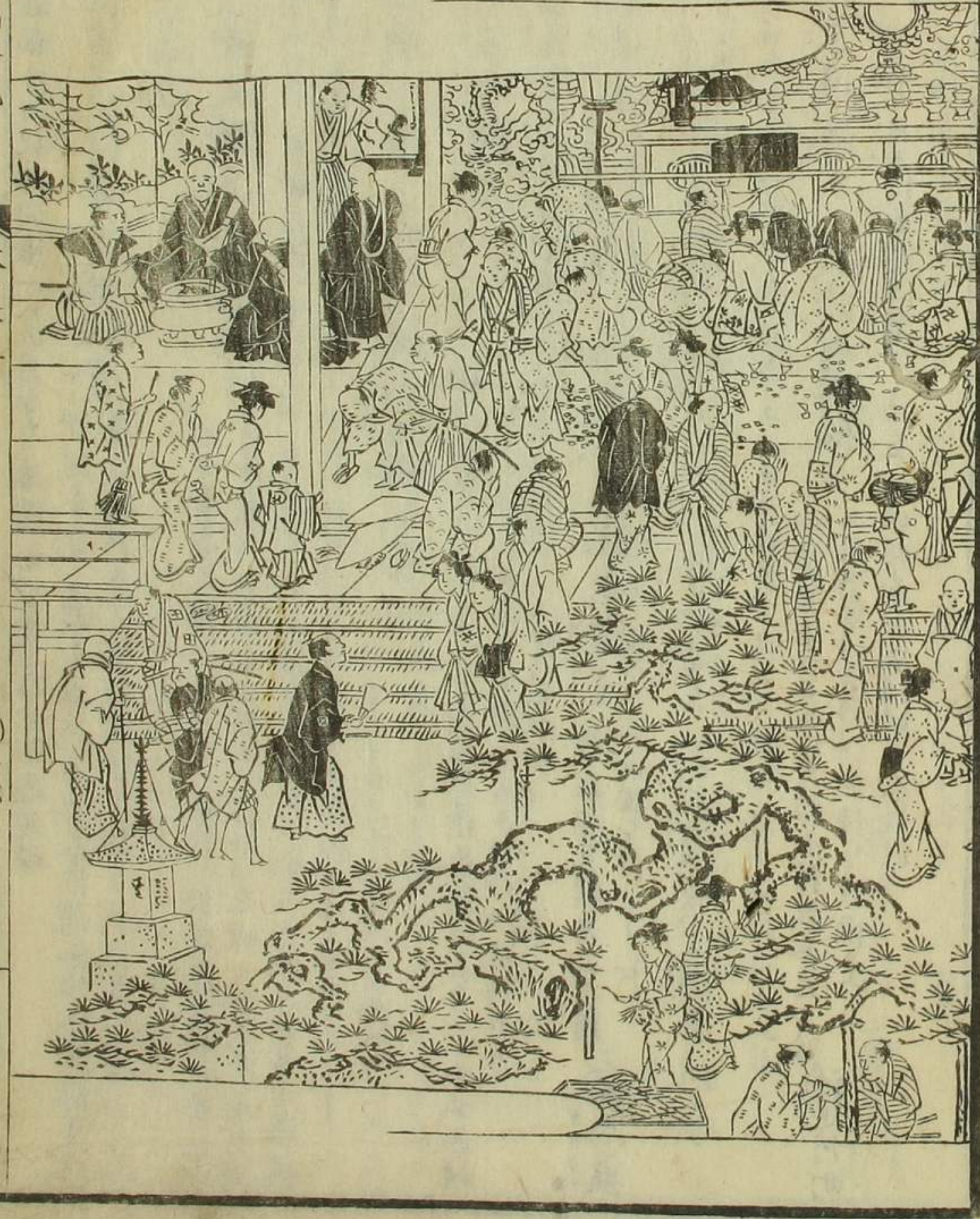
毎月 葵坂上 鍋崎系 毎月 八天系 毎月 八天系 毎月 八天系 毎月 八天系

〇小日向 上水場氷川の神祭 毎月 出所 〇麻布一本松氷川の神祭 毎月 出所

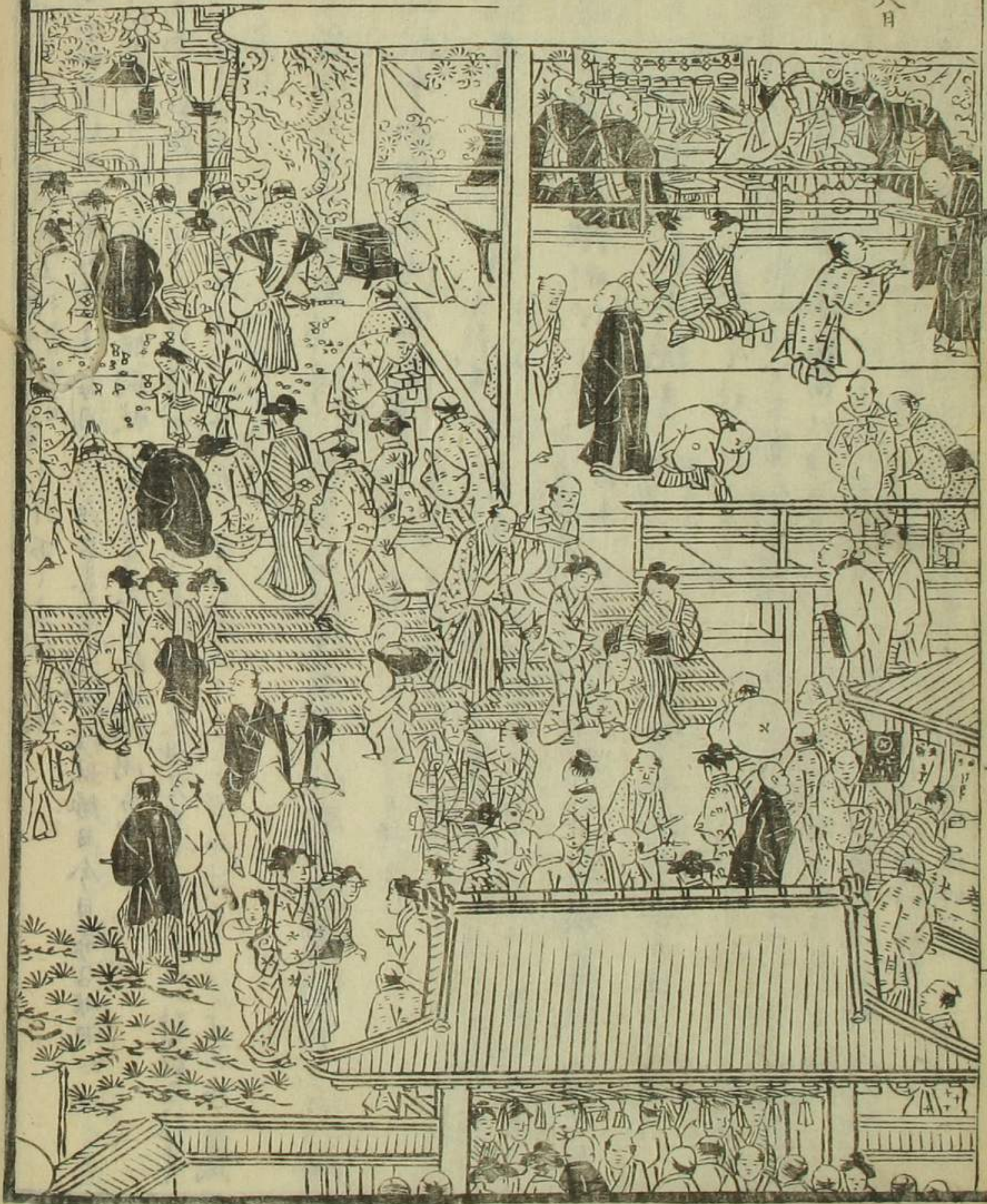
毎月 芝倉林正傳寺 題目法説法 毎月 牛込系町 惠光寺 妙見文開帳説法

東山遺事記 卷之十一 十五

ひめ  
うや  
ひの  
大師の  
月  
汶村



毎月三言六日  
東叡山  
西大師詣



○名中妙福寺日記係同帳正九月分り(毎月)同不妄言日記係同帳

十日 ○法華三昧法會 ホツケ サニミ 卯刻本堂より行あり大座敷出仕今日温座院  
羅尼結終あり今秋和明と燈一付書等と要ふり

焚捨るあり

○大師ガユ上座大師宗之日少同

此日慈惠大師の御開きあり解脫院文の御筆あり  
と書行熱麻子小世俗十八日慈惠大師之日元之大師  
たうらふ十八日あり法持ふり云々今日黒門前極楽を余法高人市より

○大師ガユ粥と号して貴賤小豆粥と會し アツキ 又十八日とも元之大師ハ  
儀表のむらあり

○鬼子母神系 八日小 難月々谷ハ正九月ハ六巻卷陀羅尼終あり○本不出村  
本ホ正九月ハ六巻卷陀羅尼終あり○本不出村

○四谷南寺町戒仍も鬼子母神同帳正九月の十八日廿八日なり

○親音系 十七日の衆下 セソボア 用麻河り親音二十箱 三田魚ギヨラニ 鑑法  
の画幅と洋子あり

親音 十七日 上座清水堂 大般若 本六丁目法福寺 本不羅漢も親音儀養  
芝浦法ありやうの内親言系文政年留法中出現法金銀あり(毎月)親言儀養社に般若

○秋葉撞現系 文地村満願寺 正九月十八日ハ六巻卷陀羅尼終あり 詢込所町  
小道摩修修法花經を凌浦を

大圓寺 正九月大般若精進(毎月)法華の誦唱松院の時を依儀法

十九日(毎月)下巻級本小聖照法の時系 白金之新改氷川の林林湯花川の報恩寺

○七面系 本不押上最敬寺 正九月ハ安ん 法華新寺町正覺寺 廿二日  
説法正九月十九日ハ 子巻より儀法あり

○田亮朝院 毎月十九日題目法説法 宮中瑞林寺 希マシ修り同帳  
子巻からに同帳説法あり

○法華新寺町源空寺御忌女之日まで修り正説法あり廿二日の布あり

○法華新寺町源空寺御忌女之日まで修り正説法あり廿二日の布あり

○今秋入道寺町寺丁同二丁目通旅新町の法還り愛比壽様の市より

南家愛比壽様の設けりて魚類菜蔬愛比壽之魚の小文法説法あり

○高家愛比壽様 エヒヒカ 愛比壽大忌二件と安一鯛魚の鮮けきと抱けく号とあり万倍の  
利益貨殖と祈る修和親戚知己とむくく宴修又怪鬼の儀あり

○今日大休来未る ○今日廿二日正月とて雜養儀を念一修り家毎に修りあり

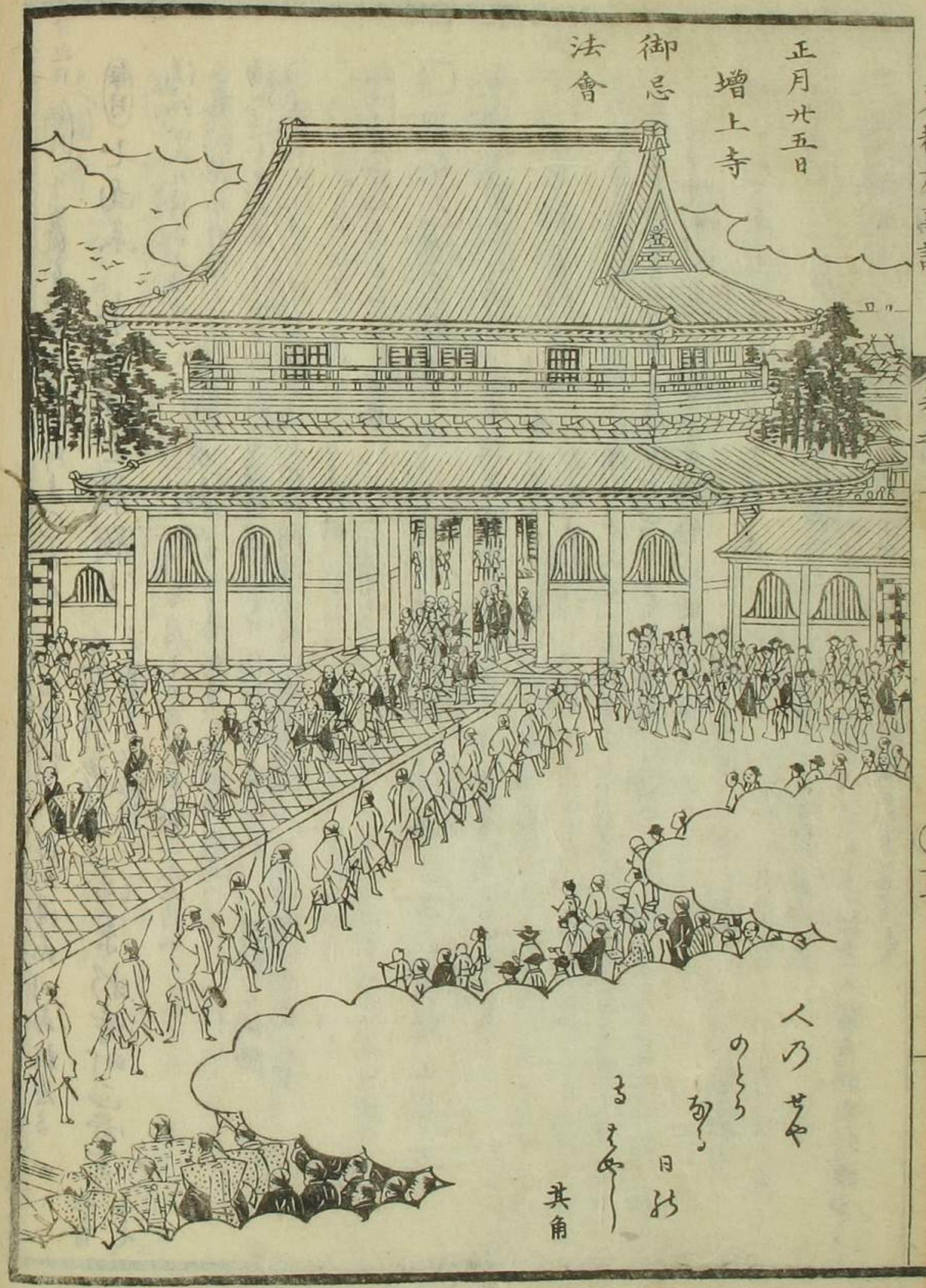
○法華再入道新の肉愛比壽同帳 ○飛戸番取大休之去り

○聖天宮系 御用英十月同 宮中吉祥院 同長之院 小不川養願寺  
之田寺町より聖天文文毎月大般若法浦あり ○麻布慶尾福新樂

○茅場町薬師如来同帳 六月九月 ○飛戸天満之年穀系六穀成終の修儀あり  
廿日あり 之村農史等系法也

正月廿五日  
增上寺

御忌  
法會



人の世  
のしほ  
あ  
日  
ま  
其角

初地空王閣  
諸元梵帝家  
經臺翻貝葉  
香社結蓮華  
癩塔慈雲峻  
雞園寶樹斜  
遠公寧計飲  
月波馬谿餘  
白石





○清忌法會 淨土宗因祖田光法師忌よりて

芝増上寺 一山慈母位あり 源川

靈巖寺 本願寺 浄土宗

十九日より修りあり廿六日施餓鬼より 小田光法師忌等六字名号因開眼の証

院と相争ひ毎月 同稱性院

至余身一奉却因先大師女を不 奉と付録あり

廿二日 ○本郷田目天満宮祭禮 別當主老古 ○平河天満宮廿六日座浄土月

○小石川半五村下流河の浄土宗今日 ○稻付村静徳寺古田及流入左木縁開麻

毎月 板橋日曜寺浄土宗 田舎寺町老源院 下谷三味線堀大久保廣田老源寺

毎月 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗

廿七日 毎月 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗

廿八日 毎月 不動系 目黒浄泉寺 正九月八日 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗

法宗院 赤坂一ツ木威徳寺 田谷新島古宗寺 下谷通新町永之寺

三田寺町宝生院 荒浪 友永茶研院 坂本町成田旅宿

○不動寺正九月開帳の場合 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗

毎月 産大神系 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗

毎月 妙見系 柳橋法性寺 新倉町 源川浄心寺 浄土宗 浄土宗 浄土宗

毎月 鬼子母神系 八月十八日 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗

二十日 毎月 上野支大師宿坊遷坐 毎月二十日 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗

中堂の東 本覚院 法雲院 見明院 志如院 青徳院 六佛院 東漸院

同西 聖松院 源泉院 覚成院 明王院 元光院 浄土宗 浄土宗

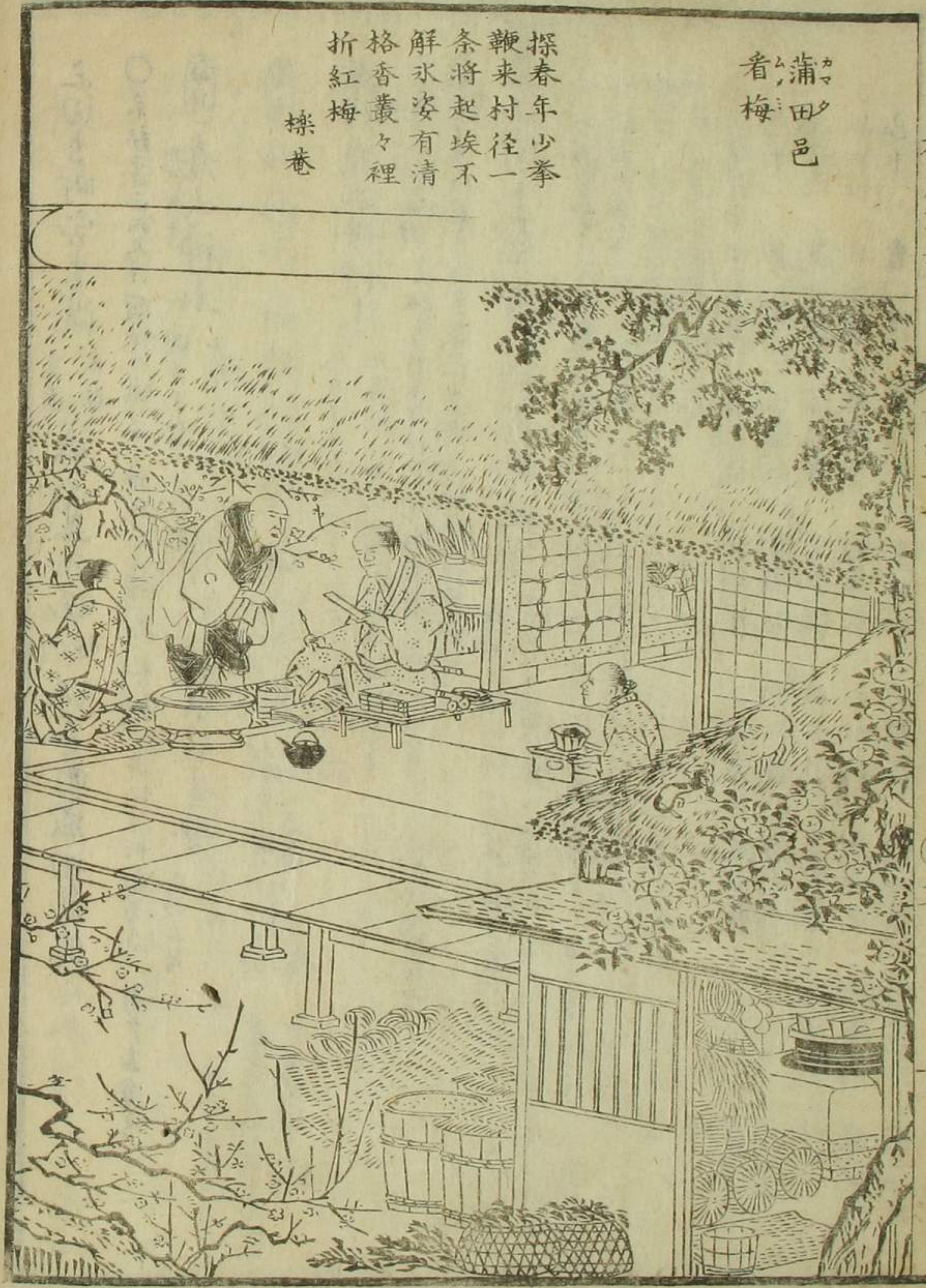
浄土門 護心院 東因院 菩提院 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗

谷中に 大慈院 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗

山に 浄土門院 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗 浄土宗

蒲田邑  
看梅

探春年少拳  
鞭来村径一  
奈将起埃不  
解冰姿有清  
格香叢々裡  
折紅梅  
標巷



海士の  
子乃  
袖もや  
白人  
浦を  
梅  
里乃  
春風  
凍麻呂



宝勝院 泉院 現院 喜昌院

日不定 ○七福神系 大玉神愛比喜 津田社或ハ上野 每天 忍 毘沙門 谷中 天王寺

喜老人 同不裏つる 布袋 日暮 福祿寿 田畑 或ハ喜老人と除くと遊太公の 西乃庵 芳吉洋天綱ハ誇りあり

又山の子七後神事あり。毘沙門二本板 細川辰也ヤリハあり。布袋 白令湯聖寺 天王殿。 喜老人。福祿寿 白令妙因寺 妙見寺の角。每天 日忌 縁起 喜窟。愛比喜。大黒 日忌 不動 境内

物景

馨 ○ 立春の十六日 同日 津田社地 小石川 鶯谷 谷中 鶯谷 二傍の大をりより 西乃庵とくハ

根岸の里 里法 宝東の響 鶯谷 ありあり 鶯谷 ともこの辺の響ハ 系の子孫ヤクハ 鶯谷 ありあり

梅 ○ 立春より廿 萩田村 江戸より 萩田村 十里 餘 あり 萩田村 程 あり 萩田村 程 あり 萩田村 程 あり

○ 同二十日 満田川 古村 梅 やり 萩田村 梅 萩田村 梅 萩田村 梅

○ 同二十日 今戸 八幡 文后 園 増上寺 飯倉 天満 文 萩田村 梅 萩田村 梅

○ 同二十二日 飛戸 梅 萩田 萩田 梅 萩田 梅 萩田 梅

○ 同日 萩田 梅 萩田 梅 萩田 梅 萩田 梅

を除梅樹多し文人 墨客あり集ふ 同 聖廟 萩田 梅 萩田 梅 萩田 梅

不動 萩田 梅 萩田 梅 萩田 梅 萩田 梅

○ 柳系 堤の物 柳も子 萩田 梅 萩田 梅 萩田 梅

若き以 萩田 梅 萩田 梅 萩田 梅 萩田 梅

江戸歳事記卷之壹春之初上終



子 子 子

東者 歲事 言  
 卷之十一  
 三十一  
 三十一

